

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-017776

(43)Date of publication of application : 18.01.2000

(51)Int.Cl. E04C 2/36
B32B 5/18
E04G 9/05

(21)Application number : 10-204258

(71)Applicant : FUJIPURA SEIKO CO LTD

(22)Date of filing : 06.07.1998

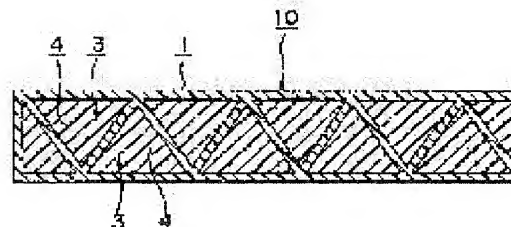
(72)Inventor : SHIOZAKI KOTARO

(54) SYNTHETIC RESIN BUILDING MATERIAL FORMED BY INJECTING FOAMED RESIN INTO HONEYCOMB HOLLOW BODY

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enhance the physical strength by extrusion molding a synthetic resin-made honeycomb hollow body, and simultaneously injecting a foaming resin into the sectionally blocked space of the honeycomb hollow body by extrusion molding.

SOLUTION: A synthetic resin such as polypropylene or polyethylene is extrusion-molded to form a honeycomb hollow body 1 having a saw-tooth frame so as to continue the base part to a vessel wall in a space formed by the vessel wall. A foaming resin 4 having a foaming magnification of about 0.5-10 times is injected into a number of sectionally blocked spaces 3 of the honeycomb hollow body 1 by extrusion molding to form a synthetic resin building material 10. According to this, physical strength such as compression or tensile strength can be enhanced to allow the nailing or screwing.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

* NOTICES *

JP0 and INPIT are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1.This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.*** shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

(57) [Claim(s)]

[Claim 1] It is the shuttering for concrete placing characterized by for the side edge edge of this elasticity sheet turning to the side face of shuttering, and preparing said projection or protruding line in the part except a part for this side edge edge of one field of this elasticity sheet in the shuttering for concrete placing with which the non-absorptivity elasticity sheet which has a projection or a protruding line on a front face was attached in the mold face.

[Claim 2] It is the sheet for shuttering characterized by preparing this projection or the protruding line in the part except a part for the side edge edge of an elasticity sheet in the non-absorptivity elasticity sheet which is attached in the mold face of the shuttering for concrete placing, and with which the projection or the protruding line was prepared in one field.

[Translation done.]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-17776
(P2000-17776A)

(43)公開日 平成12年1月18日(2000.1.18)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
E 0 4 C 2/36		E 0 4 C 2/36	N 2 E 1 6 2
B 3 2 B 5/18		B 3 2 B 5/18	4 F 1 0 0
E 0 4 G 9/05		E 0 4 G 9/05	

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 4 頁)

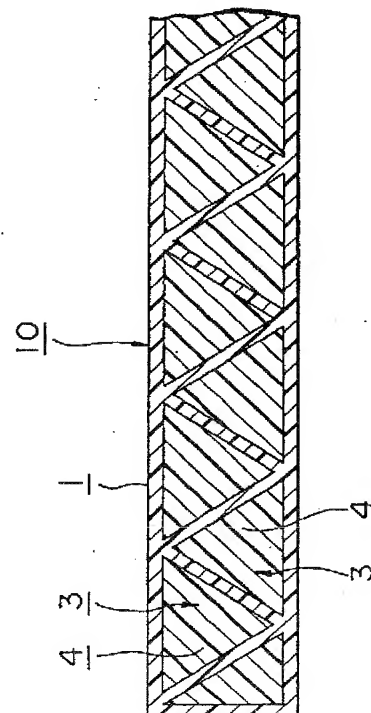
(21)出願番号	特願平10-204258	(71)出願人	591082432 株式会社フジブラ精工 静岡県裾野市葛山1103-1
(22)出願日	平成10年7月6日(1998.7.6)	(72)発明者	塩崎 孝太郎 静岡県裾野市葛山1103の1 株式会社フジ ブラ精工内
		(74)代理人	100083781 弁理士 大塚 貞次 Fターム(参考) 2E162 CD19 DA09 4F100 AK01A AK03 AK04 AK07 AK45 BA01 DC02A DH01A DJ01A EH17A GB07 GB81 JJ02 JK01 JL00 JL03

(54)【発明の名称】 ハニカム中空体内に発泡樹脂を注入して形成した合成樹脂製建築材

(57)【要約】

【課題】 容体壁とこの容体壁に基部を接続する骨枠の
枠とで形成される断面閉塞空間とで形成されるハニカム
中空体を合成樹脂で形成し、しかも前記閉塞空間内に発
泡樹脂を注入して構成した合成樹脂製建築材。

【解決手段】 軽量で機械的強度を有し、しかも耐熱性
を備えた合成樹脂製建築材を提供しようとするものであ
る。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 中空体の容体壁に基部を接続した複数個の枠とで複数個の断面閉塞空間を形成して形成されるハニカム中空体を押出成形によって合成樹脂製のハニカム中空体として形成すると同時に、前記合成樹脂製ハニカム中空体の断面閉塞空間内に発泡樹脂を押出成形によって注入することで同時多色押出成形によって形成することを特徴とする合成樹脂製建築材の製造法。

【請求項 2】 中空体の容体壁に基部を接続する複数個の枠で形成される複数個の断面閉塞空間を有する合成樹脂製のハニカム中空体を形成し、前記断面閉塞空間に発泡樹脂を注入して構成したことを特徴とするハニカム中空体内に発泡樹脂を注入して形成した合成樹脂製建築材。

【請求項 3】 請求の範囲 (2) 記載のハニカム中空体を立体形に形成したことを特徴とするハニカム中空体内に発泡樹脂を注入して形成した合成樹脂製建築材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は合成樹脂製の建築用材に関し、骨枠によってハニカム形状を形成する合成樹脂製ハニカム中空体を構成させ、合成樹脂製中空体をの容体壁と骨枠とで形成される各断面閉塞空間に発泡樹脂を注入して形成した合成樹脂製建築材に係る。

【0002】

【従来の技術】 発泡樹脂を注入した合成樹脂製建築材としては図 6 に示すように、閉塞空間を形成する中空体 1' 内に発泡樹脂 2' を押し出し成形手段によって注入したものが用いられている。この符号 10' で示す建築材は曲げ強度が比較的小さく、長尺物あるいは面積量の大きい部所への適用に問題があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この発明は曲げ、圧縮および引張強度などの物理的強度が高く、しかも釘あるいはねじ打ちも可能な合成樹脂製建築材を提供しようとするものであり、しかもこの材料は樹脂の多色押出成形によって製造することで成形加工の単純化と生産性の向上を行なえるようにしたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 この発明は合成樹脂製建築材を中空体とこの中空体内に発泡樹脂体を注入して形成するが、前記中空体はハニカム形状の骨枠によって多数の断面閉塞空間を持つようにハニカム中空体として形成し、このハニカム中空体の断面閉塞空間内に発泡樹脂を同時押出成形手段を介して注入して建築材を構成するものである。製造する場合はハニカム中空体を押出成形すると同時にこのハニカム中空体に発泡樹脂を押出成形によって注入成形するもので多色成形の連続加工を行えるものである。

【0005】

【実施例】 (その I) 図 1 はこの発明に係る合成樹脂製建築材の構成部材であるハニカム中空体を符号 1 として示したもので、このハニカム中空体 1 は容体壁 11 とこの容体壁で形成される空間内に基部 21 を前記容体壁に接続するように鋸歯状骨枠 2 を形成した構成とされている。このように構成されたハニカム中空体 1 内に容体壁 11 と骨枠 2 の枠 22、22 で多数の断面閉塞空間 3、3 が形成される。このハニカム中空体 1 は合成樹脂材を用いて押出成形によって製造するものである。

【0006】 図 2 はこの発明に係る合成樹脂製建築材を符号 10 として示したもので、この建築材 10 は図 1 で示したハニカム中空体 1 内の断面閉塞空間 3、3 に発泡樹脂材 4 を注入して構成されている。発泡樹脂材 4 はハニカム中空体 1 が押出成形により成形加工された次の段階でハニカム中空体の多数の断面閉塞空間 3、3 内に押出成形により注入される。

【0007】 この発明に適用される合成樹脂材としては熱可塑性ポリオレフィン系合成樹脂例えばポリプロピレン、ポリエチレンが好適であり、樹脂製ハニカム中空体と発泡樹脂とは同種または親和性を有することが好ましい。その他の材料としては ABS 樹脂、ポリカーボネートなどが望ましい。また発泡樹脂としては発泡倍率が 0.5~10 倍程度 (重量比: 2~1/10) のものを用いる。なお容体壁 11 の壁厚および枠 22 の枠厚および建築材の材厚、材長さ等は任意に設計できるものである。

【0008】 (その II) この実施例はハニカム中空体 1 を立体形に形成した場合の立体形建築材を符号 10 として示したもので、外面的には基板 A に枠板 B、C、D および E を立設した形状とされている。この実施例の場合基板 A を形成するハニカム中空体 1 に対して枠板 B、C を形成するハニカム中空体 1 はいずれも連続した容体壁 11 とハニカム形状を形成する骨枠 2 で構成されるもので本質的には実施例の (その I) のハニカム中空体と同じものである。この実施例の場合も立体形ハニカム中空体を押出成形した後、発泡樹脂 4 を押出成形手段を用いて断面閉塞空間内に注入して立体形建築材が形成される。

【0009】 (その III) ハニカム中空体 1 中のハニカム形状の他の実施例が図 4 に示されており、ここで示した断面閉塞空間 3 を形成している骨枠 22 の他の用法として任意に選択できるものである。図 5 は 2 個の立体形建築材 10、10 を連結する場合を示したもので、ハニカム中空体 1、1 とボルト 5 または凸凹嵌着部 6、7 を用いて行うものである。実施例のその I で示した建築材は例えば壁材、天上板、棚板、床板およびパレットなどに適用できる。また実施例その II で示した立体建築材は例えば型枠、梱包用パネルなどに適用できる。

【0010】 (その IV) 多色押出成形につき図 2 を参照して説明すれば次のとおりである。図 2 における容体壁 1 は ABS 合成木材 (木粉入り ABS 樹脂)、骨枠 2 は

は塩化ビニール製材を用いることがないのでダイオキシン禍を発生させることがなく、環境にやさしくしかもリサイクル材として省エネ化に寄与するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】ハニカム中空体の要部断面図である。

【図2】 合成樹脂製建築材である。

【図3】 立体形ハニカム中空体の要部断面図である。

【図 4】ハニカム中空体の他の実施例である。

【図5】立体形建築材の連結状態の説明図である。

【図6】従来例の説明図である。

【符号の説明】

1 ハニカム中空体

1 1 容体壁

2 骨棒

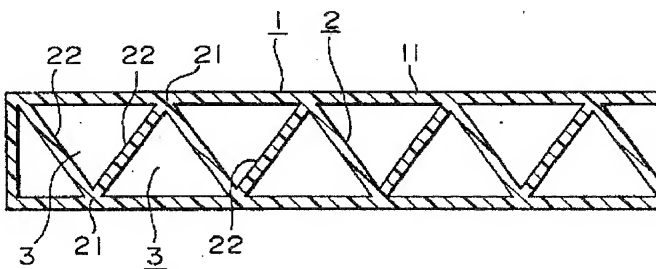
22 桦

3 断面閉塞空間

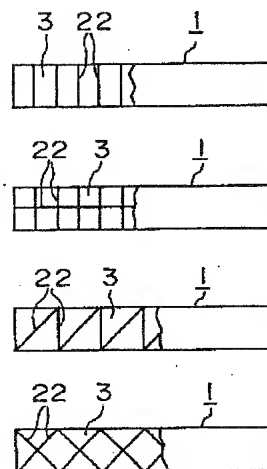
4 発泡樹脂

10 合成樹脂製建築材

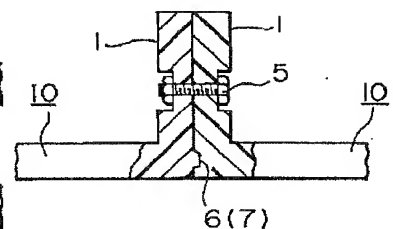
【图 1】



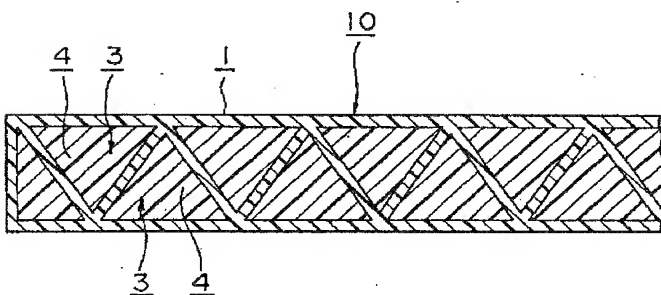
【图 4】



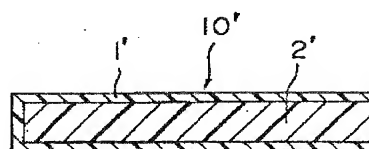
【图 5】



【图 2】



【图 6】



【図3】

